

11月7日 の海外相場									
COMEX/NYMEX (\$)		Gold (Dec)		Silver (Dec)		Platinum (Oct)		Palladium (Dec)	
Open		3,986.9		47.860		1,540.0		1,395.5	
High		4,035.8		48.730		1,569.0		1,420.5	
Low		3,981.6		47.780		1,528.0		1,380.0	
Settlement		4,009.8		48.143		1,549.1		1,403.2	
Change		18.8		0.193		11.5		8.3	
EFP		\$7.00	\$8.00	-¢ 10.00	-¢ 20.00	\$0.00	\$12.00	\$15.00	\$28.00

Fixing Prices		
LBMA/LPPM Fixing (\$)	AM	PM
Gold	4,006.40	3,994.10
Silver	48.695	-
Platinum	1,557.00	1,554.00
Palladium	1,393.00	1,396.00

**コメント**

**Precious Metal**  
 金：小幅上昇、銀：小幅上昇、プラチナ：上昇、パラジウム：横ばい  
 アメリカのミシガン大学消費者信頼感指数（予：53.1結：50.3）となり、指標が下ぶれたことを受け、国債利回りがドルが下落した。ドル指数は軟調に推移し、金利の生まない貴金属相場に追い風となった。上院民主党は失効が迫る医療保険補助金の延長申請を1年間に修正して譲歩したが、上院共和党はこれを否定。ただ、協議が継続している点は前進と受け止められ、安全資産への買いはやや後退した。材料が交錯する中、方向感を欠く展開となった。

**FX**  
 ドル円：上昇 ユーロドル：横ばい  
 ドル円は米10年債利回りが4.11%台へ上昇する中、153.48円付近まで買いが先行。その後、ミシガン大学消費者態度指数が約3年半ぶりの低水準となり、米金利が4.06%台まで低下するとドル円は153.02円付近まで弱含んだが、153円手前で下値の堅さを確認して反発した。ユーロドルに関しては、欧州時間からの買いを引き継ぎ、弱い米指標を背景に一時1.1591ドルまで上昇し、10月30日以来の高値を更新。その後は週末を控えたポジション調整の売りが出て、1.15ドル台半ばまで反落した。  
 ドル円：153.42 ユーロドル：1.1566

11月10日 週の経済指標一覧												
		11/10 (月)		11/11 (火)		11/12 (水)		11/13 (木)		11/14 (金)		
USA	前	予	前	予	前	予	前	予	前	予	前	
			米国・消費者物価指数 (CPI) 10月 [前月比]		0.3%		0.3%		米国・小売売上高 10月 [前月比]		-	
			米国・消費者物価指数 (CPI) 10月 [前年比]		3.0%		3.1%		米国・小売売上高 10月 [自動車除くコア・前月比]		-	
			米国・消費者物価指数 (CPI) 10月 [食品・エネルギー除くコア・前月比]		3%		3%		米国・消費者物価指数 (CPI) 10月 [食品・エネルギー除くコア・前年比]		前	
			米国・消費者物価指数 (CPI) 10月 [自動車除くコア・前年比]		前		予		前		予	
			前		予		前		予		前	
Asia	前	予	前	予	前	予	前	予	前	予	前	
	前	予	前	予	前	予	前	予	前	予	前	
	前	予	前	予	前	予	前	予	前	予	前	
Europe			英国・ILO失業率 09月		4.8%		4.9%		英国・実質GDP (速報値) 第3四半期 [前期比]		前	
			ドイツ・ZEW景況感指数 11月		39.3		-		英国・実質GDP (速報値) 第3四半期 [前年比]		前	
			前		予		前		1.4%		1.4%	
			前		予		前		予		前	

Source: みんかん

COMEX/NYMEX 投機的建玉

米政府閉鎖の影響により情報公開無

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。